

大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」改訂(案)の概要

ポイント

➤ 県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県づくりを目指す

- ・従来の常識をはるかに越えた速度で変化している社会経済情勢を踏まえるとともに、新時代「令和」を見通しながら、長期的な視点に立って、将来の大分県の布石となるよう見直す
- ・計画期間は、令和6年度(2024年度)までとする

➤ 時代の要請を踏まえ、各分野における新たな政策・施策を展開

- ・**大分県版地方創生の加速前進** 少子高齢化・人口減少に正面から向き合い、減少カーブを緩やかにし、歯止めをかけ、地域の持続的な発展を目指す
- ・**先端技術への挑戦** 第4次産業革命がもたらす先端技術の波に乗り、地域が抱える様々な課題の解決や新たな産業の創出を図る
- ・**強靱な県土づくり** 近年、頻繁に発生する大規模な自然災害を踏まえた抜本的な治山・治水対策を実施するとともに、地震・津波対策を推進

主な新規・拡充

安心

○子育て満足度日本一の実現

家庭、地域、企業等における子育ての充実

- ・地域子育て支援拠点を中心とした父親コミュニティづくりの推進
- ・ファミリーサポートセンターや保育所の機能強化
- ・企業・団体による男性の子育て参画推進、育児休業や育児短時間勤務を取得しやすい環境づくり

結婚・妊娠・出産への支援の充実

児童虐待に対する取り組みの強化

○多様な主体による地域社会の再構築

子どもから高齢者まで支え合う地域づくり

- ・子ども食堂など多世代交流活動の推進
- ・住民参加型福祉サービス等の推進

ネットワーク・コミュニティの構築

- ・スクールバス活用など地域住民の移動手段確保

○強靱な県土づくり

- ・近年の豪雨実績を反映させた治水対策
- ・大分臨海部コンビナート護岸の強化等

○移住・定住の促進

- ・福岡市中心部に設置する拠点施設を活用した若年者のUIターン推進
- ・関係人口の創出

活力

○農林水産業の振興

農林水産業における構造改革の更なる加速

- ・水田の畑地化による園芸品目等への生産転換
- ・おおいと和牛日本一プロジェクト
- ・スマート農林水産業の実現

○商工業の振興

チャレンジする中小企業と創業の支援

- ・中小・小規模事業者の発展と事業承継
- ・創業から発展に至るまでの継続支援

先端技術への挑戦

～大分県版第4次産業革命「OITA4.0」の推進～

- ・地域課題と先端技術のマッチング
- ・遠隔操作ロボット「アバター」や次世代モビリティサービスなど先駆的なプロジェクトの推進
- ・宇宙関連産業への挑戦
- ・5Gなど革新的な情報通信基盤の整備

○観光産業の振興

- ・デジタルマーケティングを活用した誘客
- ・観光産業の経営力強化

○女性の活躍推進

- ・企業等と連携した意識改革・環境整備の推進

発展

○「教育県大分」の創造

時代の変化を見据えた教育の展開

- ・子どもの情報活用能力を育成する、ICTを活用した教育の推進
- ・遠隔授業やAIなど先端技術の活用推進
- ・進学力・就職力の向上

- ・高大接続改革に対応した学習・指導方法充実
- ・各学校段階に応じたキャリア教育・職業教育充実
- ・グローバル社会を生きるために必要な「総合力」育成
- ・海外大学のメソッドによる遠隔講座等を通じた世界最高水準の授業機会の提供

青少年の健全育成

- ・ひきこもり等、困難を抱える青少年や家族等に対する相談・支援の充実

○芸術文化による創造県おおいとの推進

- ・芸術文化の振興と観光・地域振興の一体的推進

○スポーツの振興

- ・スポーツコミッション設置による合宿等誘致活動
- ・スタジアムを活用した地域活性化などスポーツの成長産業化

○交通ネットワークの充実

- ・九州の東の玄関口としての拠点化

指標の見直し

89指標 → 99指標

- 変更追加 : 33(男性の育児休業取得率、多世代交流・支え合い活動の実施主体数、事業承継相談対応件数等)
- 上方修正 : 37(移住促進策による移住者数(1,500人→2,700人)、農林水産業創出額(2,500億円→2,650億円)等)